

あいち農産物生産流通レポート

令和2年12月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ このおいしさをもっと多くの方に届けたい ・ 生産者があいちの茶の消費拡大に取り組んでいます	(園芸農産課) 1
◎ 地域トピックス	
・ 令和2年度海部地域いいともあいち即売会の開催	(海部農林水産事務所) 2
◎ 東日本情報	
・ 多様化する農産物の販売方法とEC	(東京事務所) 3
◎ フラワーページ	
・ 花き仲卸業者が伝える花の楽しみ方	(東京事務所) 5
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	7
・ 名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し	8
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の12月の見通し(県内市場)	20

※今月、「西日本情報」はありません。

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

このおいしさをもっと多くの方に届けたい
生産者があいちの茶の消費拡大に取り組んでいます

園芸農産課

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大で、あいちの茶も販売価格の下落や輸出の停滞などの影響を受けており、知名度向上や販売促進の取組が今まで以上に重要になっています。そこで、生産者団体である愛知県茶業連合会及び西尾茶協同組合が、国の事業を活用し、あいちの茶の販売促進と新たな需要創出に取り組んでいますので紹介します。

1 イベントでのあいちの茶の配布

「あいちの茶」を多くの方に知っていただくため、10月下旬から、いいともあいちフェアなど、各地のイベントで試供品を配布しています。最近では急須を持たない家庭も増えていることから、簡単にお茶を楽しめるティーバッグを渡すことにしました。

県内ではいろいろな地域で多様なお茶がつくられていることを伝えるため、県内複数産地の茶葉による「せん茶」、「深蒸しせん茶」、「かぶせ茶」の3種類を用意し、飲み比べができるように工夫しました。

さらに、飲んでみてぜひ購入したいと思ったときにどこで購入できるか一目でわかるように「販売店マップ」を作成するとともに、子ども向けの謎解き形式のパンフレットも作成しました。

配布する際には、産地の特色や3種類のお茶の違い、おいしいお茶の淹れ方のポイントを生産者が直接説明するなど、「あいちの茶」をPRする場になっているとともに、多くの消費者の方の生の声を聞く場にもなっています。

今後は、名古屋駅、豊橋駅など県内の主な駅や、こども園・小学校での配布も進めていく予定です。



配布の様子



子ども向けパンフレット

2 新商品開発を行う外食産業等に向けた抹茶の提供

「あいちの抹茶」については、お抹茶としていただく以外の新たな需要創出を図るため、外食産業等への試供品の提供を行っています。

西尾市産や豊田市産の抹茶を県内の和洋菓子店や喫茶店、調理師養成学校等へ提供し、抹茶を使った新商品の開発に活用していただくという取組で、12月ごろから順次、進める予定です。

「あいちの抹茶」を使った新商品は愛知県茶業連合会のホームページで紹介するなど、より広がりのあるものへとつなげていく計画です。

あいちの茶の知名度向上、消費拡大につなげるため、生産者自身によるこれらの熱心な取組が行われています。県はこれらの取組がより効果的なものとなるよう助言・協力し、「あいちの茶」の消費拡大と新たな需要創出に向けて支援を行っています。

令和2年度海部地域いいともあいち即売会の開催

海部農林水産事務所

令和2年11月7日（土）、8日（日）にJAあいち海部愛菜耕房（グリーンセンター津島店）店頭で、令和2年度海部地域いいともあいち即売会（以下、即売会）を開催しました。

1 愛知県産農産物を使用した加工品販売

即売会では、海部地域いいともあいちネットワーク会員（以下、会員）が、愛知県産農産物を使用した加工品を販売しました。

愛知県産米を使用したおにぎり等の加工品や愛西市産れんこんやいちごを使用した和洋菓子、蟹江町産白いちじくを使用した和洋菓子、西尾市産抹茶などを使用した和洋菓子等とたくさんの商品が並びました。

会員が来場者へ商品の特徴や、使用されている地元産農産物について説明する姿が見られました。愛知県産農産物を使用した加工品の販売を通して、地産地消の推進を図りました。

2 「いいともあいち運動」PR

「いいともあいち運動」は、県産農林水産物のブランド力強化とイメージアップを進め、需要拡大を図る重要な取組です。

農政課では、「いいともあいち運動」の認知度向上のため、商品にいいともあいちのシンボルマークのシールを貼り付け、のぼりやはっぴ等のPR資材を活用して「いいともあいち運動」をPRしました。

また、「あいちの豚肉消費拡大」を呼びかけるため、応援グッズのハンディウェットティッシュやマスク入りマスクケース、レシピ付きパンフレット等を配布しました。

今後も消費者と生産者、加工・流通業者とのつながりを深め、地域段階でのさらなる地産地消活動を推進していきます。



即売会の様子



白イチジク等を使用した和洋菓子



れんこん等を使用した和菓子

多様化する農産物の販売方法と EC

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

1 新型コロナウイルス感染症による農産物の需要の変化

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、飲食業への業務用野菜の需要が大きく落ち込んだのに対し、「巣ごもり需要」と言われるような在宅に伴う消費は堅調で、量販店における農産物の販売は好調だったとされています。日本チェーンストア協会の統計によると、内食需要の高まりにより 2020 年 4 月～6 月の食料品のうち農産品の販売額は前年同期比 10%以上伸び、7 月～9 月も農産品は前年同期比 10%以上の伸びを維持しています。

2 多様な農産物の販売過程

農産物の販売、流通の過程は市場流通と市場外流通に大別されます。市場外流通には、生協や大手量販店による契約取引、地域の産地直売所、農家から直接消費者への配送など様々な形態があり、インターネット通販に代表される EC（e コマース、electronic commerce：電子商取引）もそのひとつです。

EC 市場は年々市場規模が増大しており、新型コロナウイルス感染症は伸びを加速する要因になりました。農産物も、EC の活用度は低いものの例外ではありません。

EC を介した農産物の販売には、今年度実施している愛知県 WEB 物産展（あいちの『食と物産』マルシェ）」のように大手 EC サイトへモール出店するほか、個人や法人として自らのサイトを持つ販売や農産物に特化したサイトでの販売、フリマアプリを利用した販売など色々な販売方法があります。



愛知県 WEB 物産展

3 EC のひとつである産直サイト

産直サイトのひとつに、オンライン直売所「食べチョク」があります。「食べチョク」を運営する株式会社ビビットガーデンの代表取締役社長である秋元里奈氏の講演を聞く機会がありましたので、以下に概要を紹介します。

(1) 「食べチョク」設立のきっかけ

幼い頃の秋元氏にとって祖父の畑は遊び場で、中学生の体験学習の場でもあった自慢の畑でしたが、管理者の他界により畑は放置され、「農家は継ぐな」と言われて育ちました。大学卒業後は農業とかけ離れた業界に就職しましたが、こだわって作ってきたもの、出荷規格に合わないもの、形が悪くても味が良いものが売れると良いと考え、「生産者のこだわりが“正当に評価される”世界を作る」をモットーに、こだわりを持つ生産者が集うオンラインマルシェ「食べチョク」を3年前に立ち上げました。周囲から「誰でもやれそう」「これまでもあったけど、うまいかない」と言われた中での出発でしたが、業績は加速度的に伸びており、2019年第1四半期の流通額は前年同期の6倍近くになり、第4四半期で比較すると実に47倍にまで達しています。

(2) 特徴的なサービス

登録できる生産者は1次生産者で、農家だけでなく漁師もいます。生産者、消費者とも登録料は無料とし、購入時の手数料10%~20%が会社に入る仕組みで、生産者にとっては手取りが多く、直接ファンがつくことがメリットとしています。

立ち上げに際し、「生産者の顔が見えます」といったことはスーパーでも行っており、販売の場を作るだけではうまくいかないと考え、様々なサービスを展開しています。

例えばオーダーメイド宅配です。消費者がよく作る料理や野菜の好き嫌いを事前に聞き、食べチョク側でセレクトマッチングを行うことで、消費者は野菜セットで何が届くか分からない不安が解消されます。

また、価格帯を決めて生産者に提案し、定期的に福袋を作っています。お得感がありながら、何が届くか分からないワクワク感も届けます。

少量だけ欲しい場合には、何人で分けるかを設定して注文することで、分けやすい分量にあらかじめ調整されて送られてくる「共同購入機能」があります。

コミュニティづくりにも力を入れており、「食べる」と「つくる」をより身近にするため、食べチョクビレッジ、食べチョク学校といったコミュニティを作っています。有名アスリートに来てもらってアスリート料理を題材にする、生産者同士の情報交換でクレーム対応について話をしてもらうなどの活動をしています。

(3) 商品づくりのポイント

商品づくりはターゲットを明らかにすることから始め、そうすることで量や金額が決まります。商品そのものよりも、食べるシーンが分かる、食べるシーンを想像させる方が売れるそうです。



商品画像の例

メインターゲットが決まっても、世帯数によって欲しい量が変わることから、量違いやサイズ違いの商品を用意することが重要とも話されていました。

また、顧客は新規と継続の両方が大事ですが、こだわってリピーターになってもらう、いかに継続してもらうかがポイントであり、それには消費者に商品が届いたときが重要とのことです。生産者から消費者へ商品が直接発送されますが、人の体温、喜ばせてあげたい気持ちが感じられるかどうか大切です、例えば、手書きの手紙を印刷して商品と同封するにしても、月によって文面を変える、その地域の地方新聞で包むといったことをすると良いそうです。

農業経営を続けていくため、安定して収穫する技術はもちろん大切ですが、収益を上げるためには、いかに売るかも重要な課題です。

一般的に複数の販路を持つことが重要と言われます。生産者ごとに販売戦略、経営戦略が異なるため、必ずしもそれがいいとは言い切れないものの、リスク回避、リスク分散のため何かしらの手立てをしておくことは重要です。どんな販売をするか考え、直接販売を行う場合は、上に述べた食べチョクの取組などを参考に、消費者の手に取ってもらうための工夫が不可欠になります。

花き仲卸業者が伝える花の楽しみ方

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

令和2年11月11日（水）から13日（金）にかけて、「フローラル・イノベーション2020」（主催：一般社団法人日本能率協会、共催：一般社団法人日本フローラルマーケティング協会）が東京ビッグサイト青海展示棟（江東区）で開催されました。その中の出展者のひとつ、花きの仲卸業者「株式会社自由が丘フラワーズ」の取組を紹介します。

1 生花等のオンライン通販事業の取組

株式会社自由が丘フラワーズは、東京都中央卸売市場板橋市場にある花き仲卸業者です。生花やその関連商品の総合オンライン通販サイト「はなどんやアソシエ」を運営しており、生け花教室や結婚式場などを始め、29万人の会員が利用しているとのことでした。扱う商品は、生花と関連資材などを含め133,000点にも及び、全国に配送しています。今回は、このサービスの紹介とともに、花の文化を支える一環として「いけばなエッセンス体験会」を実施していました。



はなどんやアソシエの紹介

2 いけばなエッセンス体験会

家庭で花を飾るときにも生かせる生け花のエッセンスが体験できるコーナーでは、体験者が華道家の先生の助言を受けながら自分の好きなように花を生け、その後手直しをしていただくという方法で、花を上手に飾るポイントを教わることができました。生け花をしたことのない筆者も体験してみましたが、先生に手を加えていただくときに花材の生け込みに角度をつけたり、枝葉を軽く曲げたりするだけでも雰囲気が変わることに驚きつつ、最終的に全体をきれいに整えていただきました。



いけばなエッセンス体験会の作品

自由が丘フラワーズが行う通販事業への取組や、花きの文化のPRの姿勢からは、生花の仲卸業者として花き業界の振興に取り組もうとする強い思いを感じることができました。こうした機会により花に触れる人が少しでも増え、花きの魅力が伝わることに期待したいと思います。

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下
 わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：れんこん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
元年実績	2, 1 2 3	1, 1 5 1 (5 4 %)	4 2 7	4 4 8	茨城 (4 4 %) 熊本 (2 %)
2年見通し	2, 4 0 0	—	3 9 0	—	—
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知、茨城を中心に入荷する。昨年は台風の影響で不作となり、入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに下回った。本年の作柄は平年並で、愛知は小玉傾向となるか。販売は量販店中心で、2Lサイズの需要が高い。12月下旬からの需要期に向け、入荷量は増加する見込み。 入荷量は少なかった前年をかなり上回るが平年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>			<p>全国の5割程度のシェアを誇る茨城が作付面積を増やす一方で、愛知は高齢化などから生産者数が減り、作付けは減少傾向にある。今は変革時期にあり、作付面積の維持、収量の確保のため、産地は作付体型や品種構成の見直しに取り組んでいる。今後も消費ニーズに対応したれんこんの生産に努めていただきたい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：サニーレタス）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
元年実績	1 0, 0 3 0	2 8 5 (3 %)	2 8 4	3 0 9	長野 (4 4 %) 茨城 (2 0 %) 福岡 (1 4 %)
2年見通し	9, 4 0 0	—	2 9 0	—	—
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>サニーレタスの総入荷量は増加傾向にあるが、業務加工需要の落ち込みから作付けを減らす産地が出てきている。 前年は台風の影響でクリスマスまでは出荷量が少なく高値で推移したものの、年末以降は潤沢となり、荷動きが良くなかったこともあって相場は上がりにくかった。 今後の作型では各産地とも台風の影響なく、順調な出荷が見込まれる。気温が低く推移すれば、例年より少なめの入荷となるか。価格は業務需要が回復せず、苦しい展開が予想される。 入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は安かった前年をわずかに上回る見込みである。</p>			<p>これまでサニーレタスは業務加工需要のウエイトが高かったが、年々その需要が弱くなり契約取引が縮小している。そのため浮いた分をレギュラー出荷で増加している産地がある。 業務加工の動きがない中では量販店一辺倒の販売となり、安定入荷が期待されることから、これまで同様に、生産量と高品質の維持をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し

名古屋市中央卸売市場

※グラフは白抜き箇所が見通しとなります。

11月16日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格は円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)				
				上旬	中旬	下旬		
野菜	27年	36,624	218	186	216	243	北海道	30%
	28年	35,204	237	235	238	234	愛知	22%
	29年	35,140	268	247	246	315	茨城	11%
	30年	36,855	204	193	195	215	熊本	4%
	元年	36,094	205	201	199	207	長野	4%
	5ヵ年平均	35,983	226	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	35,600	209	—	—	—		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>数量 t</p> <p>単価 円/Kg</p>					
	北海道、愛知、茨城などが中心となる。11月は天候に恵まれ、生育は概ね順調。12月の入荷は平年並又は平年並以上を予想する品目が多い。冬の鍋需要やクリスマス・年末需要が期待される。入荷量と価格はともに前年並となる見込み。							
	だいこん	27年	1,803	60	58	67	64	千葉
28年		1,720	94	99	98	90	愛知	23%
29年		1,780	155	134	151	191	鹿児島	9%
30年		2,130	51	53	48	57	静岡	8%
元年		1,883	69	74	70	71	神奈川	6%
5ヵ年平均		1,863	84	82	85	93	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2年見通し		1,900	75	75	75	75		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>数量 t</p> <p>単価 円/Kg</p>						
千葉、愛知を中心に入荷する。各産地ともに台風の被害もなく、順調な入荷を見込む。愛知は播種期の雨で作業がばらつき、出荷にもばらつきが見られるものの生育順調。静岡、徳島は中下旬から入荷する。入荷量は前年並で、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。								
にんじん		27年	1,957	105	103	103	112	愛知
	28年	1,929	133	137	145	120	岐阜	9%
	29年	1,997	135	134	118	163	長崎	5%
	30年	1,781	118	122	120	110	北海道	5%
	元年	2,090	120	118	124	115	熊本	2%
	5ヵ年平均	1,951	122	123	122	124	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	1,900	123	130	110	130		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>数量 t</p> <p>単価 円/Kg</p>					
	愛知を中心に一部岐阜などからも入荷する。愛知は作柄良好で、入荷量は多かった前年をかなり下回るものの平年並となる見込み。岐阜は終盤で、作柄も良く、順調な入荷を見込む。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。							

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

11月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	27年	139,108	223	207	214	246	茨城 18%
	28年	132,314	272	266	265	284	千葉 17%
	29年	124,957	314	280	295	364	北海道 14%
	30年	130,891	230	204	216	267	愛知 8%
	元年	129,528	242	228	242	255	神奈川 4%
	5ヵ年平均	131,360	255	—	—	282	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	135,000	225	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、千葉などの関東産地や北海道からの入荷が中心となる。先月中旬は気温の高い日が続き、下旬には入荷量が増えて価格は下げに向かった。潤沢な入荷が続く見込みも、冷え込み次第では不足もありうる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
だいこん	27年	13,190	53	47	54	56	千葉 54%
	28年	13,111	90	88	91	92	神奈川 38%
	29年	10,880	151	128	139	186	徳島 3%
	30年	11,773	49	43	43	61	鹿児島 1%
	元年	11,809	67	66	63	72	茨城 1%
	5ヵ年平均	12,153	80	73	77	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	12,300	65	60	65	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、神奈川からの入荷がほとんどを占める。関東産地は台風の影響なく、おおむね順調に生育している。一部では病害虫の発生みられるも収量、品質への影響はあまりなく平年並の収量を見込む。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
にんじん	27年	9,960	94	96	90	95	千葉 78%
	28年	8,470	148	149	140	154	埼玉 6%
	29年	8,622	133	124	129	145	香川 4%
	30年	8,780	110	103	105	121	茨城 4%
	元年	8,080	141	144	136	144	長崎 2%
	5ヵ年平均	8,782	124	122	119	130	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	8,700	135	130	135	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉を中心に、埼玉等からの入荷となる。8月のは種時の高温乾燥で発芽の不揃いや初期生育不良が見られる。11月の安定した天候により、生育や肥大の遅れは回復し、潤沢な入荷が見込まれる。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年をやや下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

11月16日現在

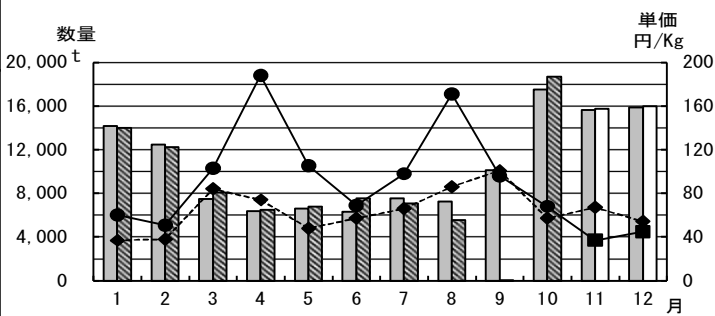
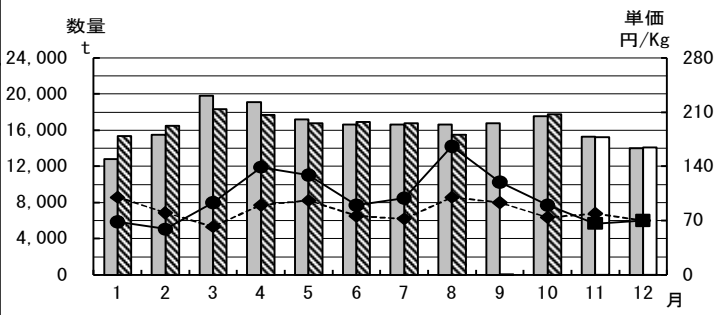
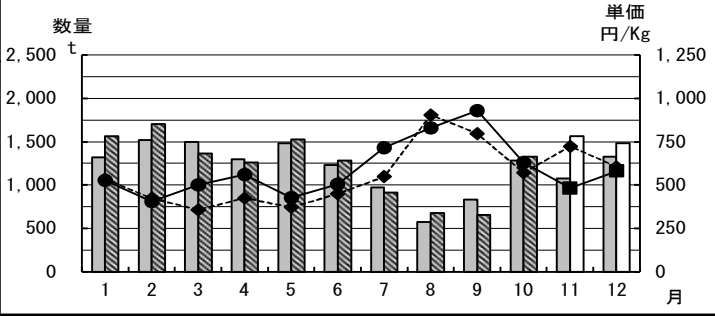
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろくさい	27年	3,179	48	42	47	56	茨城 59%
	28年	3,231	101	98	97	109	愛知 24%
	29年	3,725	138	125	132	156	兵庫 7%
	30年	4,304	48	46	49	51	宮崎 4%
	元年	3,803	66	69	63	67	岐阜 3%
	5ヵ年平均	3,648	80	75	77	87	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	4,000	70	60	70	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、愛知を中心に入荷する。各産地ともに台風の被害もなく生育順調で大玉傾向か。愛知も天候に恵まれ生育順調で、数量減だった前年をかなり上回る見込み。豊作基調による安値が懸念される。 入荷量は前年をやや上回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>					
キャベツ	27年	3,488	53	61	54	49	愛知 74%
	28年	3,449	104	105	108	102	茨城 18%
	29年	4,035	134	131	144	182	富山 2%
	30年	3,323	71	72	64	79	滋賀 2%
	元年	3,427	67	66	70	68	兵庫 1%
	5ヵ年平均	3,544	87	89	90	99	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	3,400	70	60	70	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に茨城などからも入荷する。各産地ともに天候に恵まれ、順調な入荷を見込む。愛知は非常に順調で、大きな気温低下がなければ、入荷量は平年並からやや多めとなる見込み。 入荷量は前年並で、価格は安値だった前年をやや上回る見込み。</p>					
ほうろ	27年	277	478	450	507	522	愛知 56%
	28年	354	472	484	507	471	岐阜 13%
	29年	181	980	909	959	1,063	茨城 9%
	30年	320	436	426	409	476	静岡 7%
	元年	270	601	566	638	602	群馬 5%
	5ヵ年平均	280	555	535	568	584	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	300	500	500	400	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に茨城などからも入荷する。愛知の露地物は9月、10月の天候の影響で入荷にむらが見られ、ハウス物は順調な入荷となる見込み。茨城、岐阜は順調な入荷を見込む。年末需要で高値となるか。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

11月30日現在

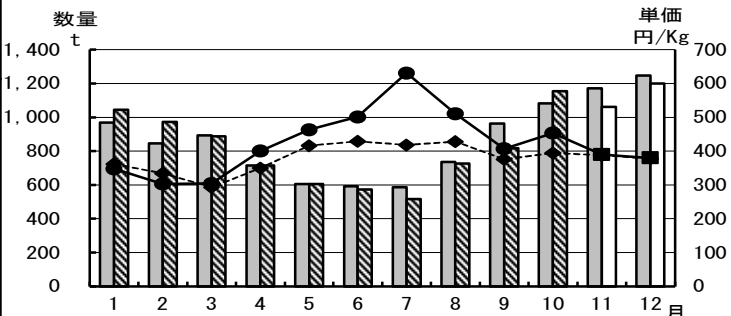
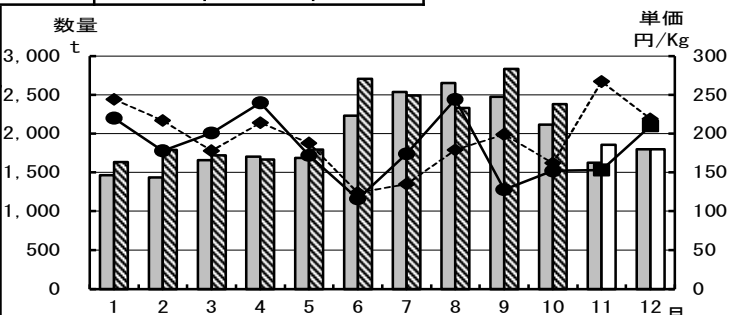
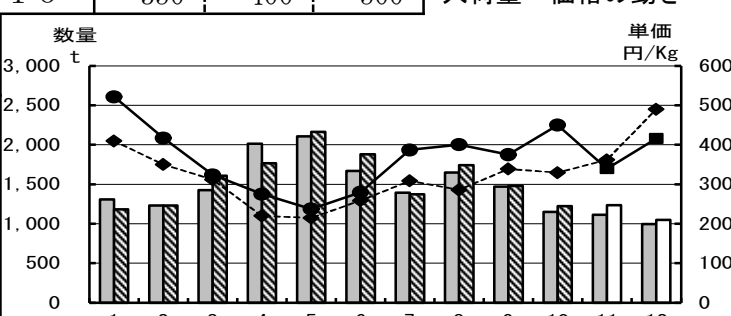
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	27年	13,709	33	31	32	35	茨城 94%
	28年	14,745	83	77	79	93	群馬 2%
	29年	16,244	105	95	98	120	和歌山 1%
	30年	15,439	38	36	39	37	兵庫 1%
	元年	15,879	54	57	52	54	北海道 1%
	5ヵ年平均	15,203	63	60	61	69	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	16,000	45	40	45	50	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷がほとんどを占める。定植時の高温、乾燥で活着不良が一部にあったものの、その後は定期的な降雨もあり生育順調で肥大も良好。潤沢な出回りが見込まれ、前年以上に価格は厳しいか。 入荷量は前年並となり、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>				
	<p>数量</p>  <p>単価 円/Kg</p>						
	キヤベツ	27年	14,171	56	62	56	50
28年		14,178	112	109	114	114	千葉 22%
29年		13,077	155	128	145	191	茨城 11%
30年		14,117	72	68	64	84	神奈川 7%
元年		13,998	70	70	74	67	秋田 1%
5ヵ年平均		13,908	92	87	90	100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2年見通し		14,100	70	65	70	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>本県を中心に、千葉等の関東産地からの入荷となる。各産地とも台風被害なく、定期的な降雨もあって順調に生育している。気温低下により出方は落ち着きながらも潤沢な入荷が続いて価格展開は厳しいか。 入荷量、価格ともに、前年並となる見込み。</p>					
<p>数量</p>  <p>単価 円/Kg</p>							
ほうれんそう		27年	1,642	445	426	472	440
	28年	1,703	473	480	482	459	茨城 21%
	29年	991	913	829	859	1,028	埼玉 9%
	30年	1,557	420	368	383	511	千葉 8%
	元年	1,324	605	584	631	602	福岡 6%
	5ヵ年平均	1,443	540	511	537	570	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,480	580	530	560	650	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城など関東近郊産地からの入荷が中心となる。前年と異なり台風や大雨の影響がなく、11月中旬の気温高もあって生育はおおむね順調。産地によっては前進出荷し一時的な不足あるか。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>				
	<p>数量</p>  <p>単価 円/Kg</p>						

名古屋市中央卸売市場

11月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)		
			上旬	中旬	下旬			
ねぎ	27年	1,259	370	354	395	長野	21%	
	28年	1,196	408	395	433	大分	16%	
	29年	1,182	448	426	481	静岡	12%	
	30年	1,181	376	362	406	群馬	9%	
	元年	1,248	378	368	382	鳥取	8%	
	5ヵ年平均	1,213	396	392	419	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	2年見通し	1,200	380	360	380			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
白ネギは長野、静岡など、長ネギは愛知から入荷する。平年より太物が少なく、入荷量は前年よりもやや少ないか。愛知は生育順調で、平年よりも多めの入荷となる見込み。鍋需要による荷動きが期待される。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。								
し	27年	1,871	205	182	212	228	兵庫	40%
	28年	1,802	235	272	230	215	愛知	15%
	29年	1,288	554	462	486	678	熊本	13%
	30年	1,845	170	148	141	218	静岡	13%
	元年	1,800	219	208	237	217	長崎	9%
	5ヵ年平均	1,721	259	241	247	288	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	1,800	210	180	200	250		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
兵庫を中心に愛知、静岡などから入荷する。兵庫、静岡は生育順調。愛知は天候に恵まれ作柄良好、作付面積は微減傾向にあるが平年並からやや多めの入荷を見込む。業務需要が低い中、販売状況は厳しいか。入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。								
き	27年	994	490	534	419	530	愛知	53%
	28年	1,031	446	440	433	466	宮崎	17%
	29年	1,029	492	304	370	354	高知	14%
	30年	1,027	492	342	514	637	鹿児島	14%
	元年	997	490	425	479	561	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	5ヵ年平均	1,016	482	408	443	509		
	2年見通し	1,050	416	350	400	500		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
愛知を中心に宮崎などの西南暖地から入荷する。愛知は天候に恵まれ生育順調。作付面積は概ね前年並で、入荷は平年並の見込み。他産地も生育順調で病害虫の被害もなく作柄良好。平年並の入荷を見込む。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。								

東京都中央卸売市場

11月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	27年	6,519	316	315	300	327	茨城 20%
	28年	6,159	363	364	347	377	千葉 19%
	29年	6,041	391	414	359	403	埼玉 15%
	30年	6,484	324	313	310	343	群馬 10%
	元年	6,224	348	371	331	343	栃木 10%
	5ヵ年平均	6,285	348	354	329	358	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	6,300	360	330	360	390	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を始め千葉等の関東近郊産地からの入荷となる。7月の長雨、8月の高温・乾燥、10月の少雨の影響により生育遅れや品質低下がみられた産地も回復に向かい、順調な入荷が見込まれる。 入荷量は前年並となり、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
し	27年	8,135	201	186	207	208	静岡 27%
	28年	8,575	233	266	224	212	兵庫 18%
	29年	5,186	547	469	482	667	香川 13%
	30年	8,449	156	138	121	210	長崎 13%
	元年	7,614	223	213	244	214	茨城 8%
	5ヵ年平均	7,592	250	237	237	273	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	8,200	190	150	190	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、兵庫、香川、長崎などからの入荷となる。主力静岡は例年より冷え込みが早く少雨のため小玉傾向も、まとまった降雨あれば肥大進むか。西日本産地はおおむね順調な生育で、潤沢な入荷を見込む。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
きゅうり	27年	4,260	522	556	447	561	宮崎 41%
	28年	4,490	464	461	449	483	高知 15%
	29年	4,228	523	497	529	541	千葉 15%
	30年	3,752	556	344	604	788	埼玉 11%
	元年	3,887	546	481	538	614	群馬 9%
	5ヵ年平均	4,123	520	470	510	591	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	4,100	510	400	510	620	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎を中心に、高知、千葉など、西南暖地と関東の冬産地からの入荷となる。西南産地は先月に多かった反動で落ち着いた入荷となるか。関東産地は草勢低下や抑制作の早期切り上がり一部で懸念される。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

11月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	27年	367	417	398	423	430	熊本 58%
	28年	342	442	441	447	439	愛知 36%
	29年	257	564	542	591	561	高知 5%
	30年	398	402	398	408	407	
	元年	345	448	448	458	446	
	5ヵ年平均	342	447	438	457	449	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2年見通し	350	433	430	440	430		
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本の長ナス、愛知の長卵型ナスを中心に入荷する。両産地ともに天候に恵まれ、着果良好で順調な入荷を見込む。愛知の作付面積は微減傾向にあるが、生育順調で平年並の入荷となる見込み。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>						
ト	27年	1,044	285	236	280	360	熊本 50%
	28年	815	541	681	483	460	愛知 23%
	29年	868	487	461	465	532	三重 17%
	30年	1,034	328	335	330	323	岐阜 8%
	元年	956	331	389	321	290	
	5ヵ年平均	943	385	407	368	387	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2年見通し	1,000	330	350	340	320		
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知、三重、岐阜が中心となる。大産地の熊本は順調な入荷を見込む。愛知は夏の高温による着果不良が見られるものの徐々に増量し、入荷ピークは例年の上旬から中旬にずれ込む見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並となる見込み。</p>						
ミニ	27年	422	603	423	574	831	熊本 54%
	28年	333	917	1,021	850	900	愛知 37%
	29年	360	907	864	932	921	宮崎 5%
	30年	490	585	549	572	638	和歌山 3%
	元年	464	559	670	516	507	群馬 1%
	5ヵ年平均	414	692	681	667	739	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2年見通し	440	600	600	600	600		
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知を中心に入荷する。熊本は生育順調で数量増となった前年並の入荷を見込む。愛知は高温の影響から回復し、順調な入荷の見通し。入荷ピークは中旬頃で、それ以降は数量減による高値となるか。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

11月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	27年	1,796	492	483	506	488	高知 61%
	28年	1,827	500	484	535	509	福岡 18%
	29年	1,496	656	703	756	559	熊本 12%
	30年	1,817	449	444	467	439	佐賀 3%
	元年	1,759	516	534	535	479	岡山 2%
	5ヵ年平均	1,739	518	523	553	493	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,800	500	460	520	520	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知を中心に福岡、熊本からの入荷となる。先月は順調な入荷が続いたが、今月は落ち着くか。冷え込みによる収穫量の低下も一部で懸念される。コナジラミ類の発生が例年より多いも入荷量への影響はない。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ト マ ト	27年	5,533	332	287	332	385	熊本 50%
	28年	4,423	577	715	532	500	愛知 15%
	29年	4,446	541	513	519	588	栃木 13%
	30年	5,254	377	373	381	377	千葉 6%
	元年	5,051	381	432	376	336	静岡 4%
	5ヵ年平均	4,941	433	452	421	430	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	5,200	360	430	350	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本を中心に愛知、栃木からの入荷となる。熊本は生育順調で、着果肥大も良好なことから潤沢な入荷を見込む。本県や栃木の小玉傾向は改善に向かう。潤沢な出回りのため、厳しい相場展開が見込まれる。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	27年	1,763	573	435	557	769	熊本 44%
	28年	1,506	886	1,013	796	843	愛知 19%
	29年	1,573	899	840	901	942	千葉 10%
	30年	1,850	594	549	598	635	宮崎 9%
	元年	2,104	554	667	532	469	静岡 6%
	5ヵ年平均	1,759	685	686	662	713	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	2,000	530	510	520	560	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、千葉、宮崎からの入荷が中心となる。主力産地は天候に恵まれ生育順調で着果も良好。千葉の抑制作は早期の切り上がり懸念されるも、各産地から潤沢な入荷が続く、苦しい相場となるか。入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は安かった前年をやや下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

11月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	27年	384	505	393	542	593	鹿児島 50%
	28年	428	479	469	520	490	宮崎 33%
	29年	369	611	525	642	619	高知 14%
	30年	424	359	298	369	476	茨城 5%
	元年	393	447	377	443	561	
	5ヵ年平均	399	477	410	500	545	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	400	365	350	360	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
鹿児島、宮崎、高知を中心に入荷する。鹿児島を始めとした西南暖地は生育順調で、上旬までは安定した入荷を見込む。中旬以降は成り疲れによる入荷減の見込み。年末に向かって価格が戻るか。入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に下回る見込み。							
ばれいしょ	27年	3,267	97	97	100	98	北海道 76%
	28年	2,572	188	190	191	174	長崎 24%
	29年	2,633	114	114	113	115	
	30年	2,773	116	122	112	113	
	元年	3,010	85	88	86	80	
	5ヵ年平均	2,851	118	120	118	114	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	2,600	135	135	135	135	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
北海道、長崎からの入荷となる。北海道は当初豊作の見通しであったが、現時点では入荷減となっており、12月の入荷量は平年よりも少ないか。長崎は上旬から本格的に入荷し、Lサイズ中心となる見込み。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。							
たまねぎ	27年	7,105	66	67	68	68	北海道 100%
	28年	8,414	67	66	70	68	
	29年	7,658	82	84	82	80	
	30年	8,010	98	102	109	89	
	元年	7,743	72	76	75	71	
	5ヵ年平均	7,786	77	79	81	75	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	7,700	73	70	73	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
ほぼ全量を北海道から入荷する。北海道の12月入荷分は全て貯蔵物となるが、前年に引き続き各産地ともに豊作傾向で、L大サイズを中心に安定した入荷を見込む。入荷量と価格はともに前年並となる見込み。							

東京都中央卸売市場

11月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ピーマン	27年	1,371	508	387	553	896	宮崎 39%	
	28年	1,662	479	442	494	510	茨城 28%	
	29年	1,471	625	543	662	679	高知 19%	
	30年	1,579	394	317	382	519	鹿児島 13%	
	元年	1,510	484	410	457	614		
	5ヵ年平均	1,519	496	419	507	635	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	1,500	470	450	470	490		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	宮崎、茨城、高知、鹿児島からの入荷となる。西南産地は好天のため作柄良好。一部では成り疲れによる減少が懸念されるも潤沢な入荷を見込む。茨城は10月の曇天の影響で着果少なく平年より少ないか。入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに下回る見込み。							
	ばれいしょ	27年	8,699	100	98	100	107	北海道 81%
28年		7,451	189	186	190	191	長崎 18%	
29年		8,146	112	112	111	113	鹿児島 1%	
30年		7,310	118	120	117	118		
元年		8,855	87	90	86	86		
5ヵ年平均		8,092	119	119	119	121	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2年見通し		8,000	135	130	135	140		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
北海道、長崎からの入荷がほとんどを占める。主力の北海道は肥大良好も玉数が少ない。収穫終了も貯蔵量少なく、豊作の前年より少ない入荷となる。長崎は干ばつによる肥大不足からの回復を期待。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。								
たまねぎ		27年	11,460	68	71	66	69	北海道 95%
	28年	11,441	75	74	74	76	中国 2%	
	29年	10,884	93	90	94	96	佐賀 1%	
	30年	9,737	121	120	120	126	兵庫 1%	
	元年	9,495	78	77	78	76		
	5ヵ年平均	10,603	86	86	86	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	9,800	75	75	75	75		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	北海道からの入荷がほとんどを占める。主力北海道は前年に続き豊作基調でL大中心。貯蔵からの計画的な出荷がなされる。現状は価格低迷も、年末を控えて上昇するか。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

11月19日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	27年	9,997	381	334	399	414	愛知 16%
	28年	10,907	370	317	395	415	静岡 16%
	29年	9,718	429	363	442	475	岐阜 11%
	30年	9,826	392	342	396	415	和歌山 11%
	元年	10,487	380	319	402	411	フィリピン 10%
	5ヵ年平均	10,187	390	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	9,900	380	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	みかん、いちご、りんごなどが主な品目となる。りんごは長野の切り上りが早く、入荷量は前年を下回る見込み。かきは害虫被害による品質低下が懸念される。生柿の入荷が少なく、冷蔵柿の入荷が早まるか。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。						
み	27年	4,359	274	229	280	311	静岡 33%
	28年	5,128	251	235	254	273	愛知 30%
	29年	4,332	354	326	354	393	和歌山 21%
	30年	5,048	257	236	267	275	熊本 4%
	元年	4,885	270	245	271	305	愛媛 4%
	5ヵ年平均	4,750	279	253	283	309	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	5,000	260	235	270	280	
か	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	静岡、愛知を中心に和歌山、愛媛などから入荷する。各産地ともに酸抜けが良く、前進出荷傾向の見通し。夏から秋の長雨の影響で大玉となるか。本年は表作で入荷量は平成30年産より多い見込み。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。						
い	27年	603	1,548	1,314	1,511	1,776	愛知 52%
	28年	473	1,985	1,527	2,078	2,257	熊本 33%
	29年	419	2,285	1,667	2,370	2,637	鹿児島 6%
	30年	505	2,054	1,609	2,280	2,356	岐阜 3%
	元年	401	2,169	1,695	2,437	2,414	佐賀 3%
	5ヵ年平均	480	1,973	1,543	2,089	2,249	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	480	2,000	1,600	2,100	2,100	
ち	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知を中心に、熊本などから入荷する。全国的に1週間から10日遅れだったが、九州産地は上旬頃に出揃い、中旬から下旬に入荷ピークを迎える見込み。年末までは大玉傾向にあり、業務用サイズは少ないか。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。						

東京都中央卸売市場

11月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	27年	52,311	402	357	412	430	愛媛 28%
	28年	53,971	417	370	434	447	和歌山 12%
	29年	51,507	457	395	471	494	長崎 11%
	30年	51,593	446	404	457	472	青森 8%
	元年	52,865	418	371	436	442	熊本 8%
	5ヵ年平均	52,449	428	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2年見通し	52,900	420	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>みかん中心にりんご、いちごなどが入荷する。りんごは長野、青森ともに順調で、台風被害のあった前年と比べ平年並みに入荷量を戻し、品質も良い。富有柿の冷蔵物は量が少ない見込み。 入荷量、価格ともに前年並となる見込み。</p>						
み	27年	30,980	277	258	276	290	愛媛 41%
	28年	33,332	290	288	294	288	和歌山 18%
	29年	30,959	342	312	343	361	長崎 17%
	30年	32,507	304	293	310	307	熊本 10%
	元年	32,824	284	275	284	290	静岡 7%
	5ヵ年平均	32,120	299	285	301	307	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2年見通し	32,800	290	280	290	300		
かん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛媛、和歌山、長崎などから入荷する。中旬には早生から温州に切り替わる。みかん全体では天候に恵まれ生育順調で、総入荷量は上旬に若干前倒しし中旬は減少するか。果実肥大は良好でM中心を見込む。 入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>						
い	27年	2,936	1,695	1,460	1,606	1,940	栃木 42%
	28年	2,445	2,092	1,704	2,025	2,359	福岡 21%
	29年	2,330	2,215	1,743	2,173	2,593	長崎 8%
	30年	2,873	2,106	1,639	2,143	2,408	茨城 8%
	元年	2,178	2,252	1,739	2,301	2,538	静岡 7%
	5ヵ年平均	2,552	2,054	1,646	2,029	2,347	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2年見通し	2,300	2,300	2,100	2,300	2,500		
ち	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>栃木、福岡などから入荷する。夏期の高温により花芽分化が遅れたことと、11月の低夜温により入荷が遅れているが、年末にかけて回復する見込み。また、各産地大玉傾向となっている。 入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>						

切花・鉢花の12月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 11月30日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	27年	2,859	58	
		28年	2,872	59	
		29年	2,897	58	
		30年	2,400	60	
		元年	2,348	55	
	5カ年平均	2,675	58		
2年見通し	2,400	55			
概要	愛知、三重、沖縄から入荷する。10月の曇天による日照不足が影響して2L等級の発生が少ないことが予想される。中旬以降は年末需要で全体的に動きは良くなると見込まれる。				
小 ぎ	実績	27年	2,427	32	
		28年	2,381	30	
		29年	3,015	30	
		30年	1,974	35	
		元年	2,079	33	
	5カ年平均	2,375	32		
2年見通し	2,000	33			
概要	沖縄中心の入荷となる。台風被害はないが、11月中の高温、乾燥で病害虫の発生が出てきているため、秀品率の発生が若干落ちそうである。ピークとしては21日、23日の販売、25日にかけては減少する見込み。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	27年	1,227	44	
		28年	1,258	42	
		29年	1,372	47	
		30年	1,469	39	
		元年	1,427	40	
	5カ年平均	1,351	42		
2年見通し	1,450	40			
概要	長野県の入荷も終盤、愛知中心の入荷となる。11月後半の暖かい気候で前進しがち。生育は順調で例年より早く60cmUPで入荷が予想される。				
か す み	実績	27年	249	68	
		28年	182	91	
		29年	169	112	
		30年	206	66	
		元年	170	89	
	5カ年平均	195	83		
2年見通し	180	90			
概要	高知、和歌山、熊本からの入荷となる。11月下旬に気温高により遅れ気味の物が一気に出荷となった。その影響から年末は落ち着いたものとなるが極端に減少することはない見込み。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	実績等				数量 千本	単価 円/本
ゆり	実績	27年	418	185		
		28年	359	199		
		29年	385	198		
		30年	353	213		
		元年	346	193		
	5カ年平均		372	197		
	2年見通し		350	195		
概要	高知、宮崎、埼玉、新潟、鹿児島からの入荷となる。オリエンタル、鉄砲ともやや前進傾向。施設物中心で加温管理はできるため、冷え込んでくれば年末需要に合わせられる。生育状況は概ね順調である。					
洋らん	実績	27年	661	83		
		28年	643	94		
		29年	624	104		
		30年	568	92		
		元年	546	105		
	5カ年平均		608	95		
	2年見通し		500	100		
概要	高知、徳島、鹿児島、静岡、愛知の国内産や輸入品が入荷する。新型コロナウイルス感染症拡大の影響から輸入中心に入荷は少なめ。販売面でも自粛の長期化により引き合いが心配される。					
ばら	実績	27年	683	87		
		28年	794	74		
		29年	793	78		
		30年	680	76		
		元年	595	94		
	5カ年平均		709	81		
	2年見通し		580	95		
概要	愛知、岐阜、三重中心に入荷する。アジア圏のバラの入荷が無い為、需要が国内産の下位等級にシフトし、品薄となる見込み。国内各産地は順調な入荷となる予定。					
枝も	実績	27年	4,423	55		
		28年	4,659	52		
		29年	4,454	56		
		30年	4,492	60		
		元年	2,952	56		
	5カ年平均		4,196	56		
	2年見通し		2,900	60		
概要	茨城、兵庫、愛媛、和歌山、静岡及び長野から年末商材が入荷する。実物は不作の年で南天に関しては凶作レベルか。ボケなどは農家と減少と共に一定量に。国内産の実物が少ない分、輸入のヒペリカムの引合いが強まる見込み。					

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ類	実績	27年	7,249	1,072	
		28年	8,729	953	
		29年	8,469	978	
		30年	9,637	1,079	
		元年	10,380	944	
	5ヵ年平均	8,893	1,002		
	2年見通し	10,000	970		
概要	<p>入荷量は前年より減少か。原木類減少傾向にあるため、各サイズ品薄になる見込み。特に5号以下はかなりの品薄になりそう。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（71.0%）、2位鹿児島（20.5%）、3位岐阜（2.3%）となっている。</p>				
シヤコバサボテン	実績	27年	7,750	369	
		28年	14,034	437	
		29年	11,926	397	
		30年	9,200	511	
		元年	12,271	443	
	5ヵ年平均	11,036	433		
	2年見通し	12,000	433		
概要	<p>入荷量は前年より減少か。3、5号、4号中心の入荷になり、6号以上は品薄になる見込み。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（78.6%）、2位埼玉（14.8%）、3位静岡（3.3%）となっている。</p>				
シクラメン	実績	27年	574,269	412	
		28年	606,925	411	
		29年	581,607	383	
		30年	537,326	402	
		元年	540,423	415	
	5ヵ年平均	568,110	405		
	2年見通し	540,000	415		
概要	<p>入荷量は前年より減少か。全国的に各サイズ遅れ傾向、F1からパステル移行が例年より空き、出荷は上旬が少なく中旬以降が重なる見込み。 例年に比べ引き合いも強く後半の出荷はかなり少なくなる予定。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（28.9%）、2位群馬（14.9%）、3位長野（11.0%）となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	27年	113,376	2,397	
		28年	106,582	2,427	
		29年	105,449	2,289	
		30年	91,778	2,206	
		元年	86,602	2,262	
	5ヵ年平均	100,757	2,323		
	2年見通し	88,000	2,216		
概要	<p>入荷量は前年よりやや増加か。早生品種の開花遅れがあり、晩成品種は生育が順調なため、12月上旬に出荷が重なる見込み。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(55.4%)、2位高知(9.4%)、3位徳島(8.2%)となっている。</p>				
カラッコエ	実績	27年	25,394	197	
		28年	29,871	207	
		29年	23,047	194	
		30年	25,819	189	
		元年	17,678	208	
	5ヵ年平均	24,362	199		
	2年見通し	17,000	206		
概要	<p>入荷量は4号以下を中心に前年より減少する見込み。今期も日照不足、9月の高温など天候不順で出荷遅れが見受けられたが、生産状況は回復してきている。例年、中旬以降に年末・年始売り需要があるので出荷調整をお願いしたい。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜(48.0%)、2位埼玉(45.0%)、3位三重(3.9%)となっている。</p>				
パンジー	実績	27年	403,892	42	
		28年	489,381	50	
		29年	552,273	38	
		30年	419,772	39	
		元年	465,569	44	
	5ヵ年平均	466,177	43		
	2年見通し	420,000	50		
概要	<p>入荷量は減少か。気候の問題から初期生育に影響が出たことや、11月中の前倒し出荷などが影響すると思われる。価格面は平年並みの見込み。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(30.5%)、2位奈良(22.9%)、3位三重(10.8%)となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.570
令和2年12月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434